



①岸田政権は「国民の命や暮らしを守るため」という「**敵基地攻撃能力**」の保有に積極的な姿勢を示しています。

「敵基地攻撃能力」というのは、飛んでくるミサイルを迎撃するのはちがいが、敵の基地などのミサイル発射拠点・発射装置を攻撃・する能力のことです。

さらに岸田首相はこの**敵基地攻撃能力**を「**他国への攻撃に反撃する集団的自衛権として行使する可能性**」にも言及しました。そもそも何それ? ほんとに必要なの? 一緒に考えてみませんか。



②「敵基地攻撃能力」を日本が持つと、他の国からは日本が**他の国を攻撃する準備**をしているように見えるよね。

そうだとすれば、他の国は、日本が「**敵基地攻撃**」をするより先に**日本をやっつけないといけない**から、日本に対して「**敵基地攻撃**」をしてもOKになるはずだね。

本末転倒です。



③ミサイル基地をつぶせ! っっていても、ミサイル発射台が何台あるかも、ミサイル発射台の全部がどこにあるのかも分からない。

そんな機密情報を他国に教えるはずないでしょ。山奥かもしれないし、他国との境界付近かもしれないし。常に情報を教えてくれるスパイがその国全土にいないと無理でしょ。



④「日本への攻撃に着手」なんて、知ることはできないよ。仮に人工衛星が何かでミサイルへの給油の様子を捉えたとしても、それだけで日本を狙ってるかどうかは不明だね。

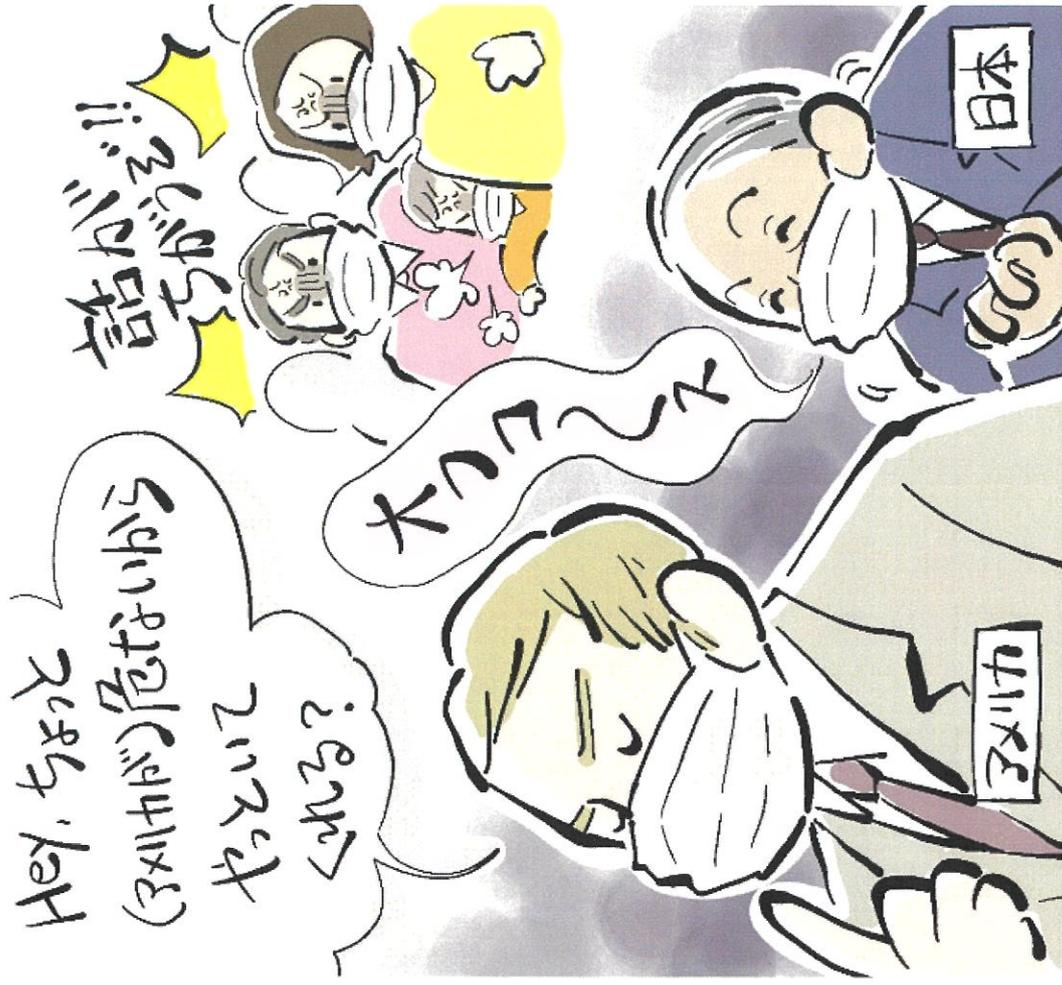
オンタイムで発射を見守る技術も無いし、日本が標的と思いついて基地を破壊したら、**国際法上許されない先制攻撃になる可能性大!** ♂



⑦イラク戦争では「世界最強」のアメリカ軍でも、イラク軍のミサイル発射台を半分ちよっとしか破壊できなかったんだ。

北朝鮮は200発以上のミサイルに加えて発射台もたくさんあると言われているから、**全部を発射前に攻撃～なんて不可能。**

攻撃が外れたら、当然向こうも反撃してくるよ。



⑧日本政府は、仮にアメリカがどこかの国に攻撃されそうになったときには、日本が、「**集団的自衛権の行使**」として**敵基地を攻撃することも憲法許される**、と国会で答弁しているから、日本自身が攻撃されなくても日本がどこかの国をミサイル攻撃するってことにも使われかねないよ。



⑨最新型のミサイル、最新型の戦闘機…きりがけない軍拡に、私たちの納めた税金を注ぐのって、**そもそもお金の使い道としてどうよ?**

税金は、まずはコロナ対策、貧困対策、子どもの就学支援、保健所・病院の増設とか、国民の人間らしい生活を保障するために使うべきなんじゃない?



⑩結局「抑止力」での脅し合いは、**終わりのない軍拡競争**になるよね。

経済的にも地政学的にも、なにより「平和のうち」に生存する権利の保障という点からも、**有限な資源や税金を軍拡に使うんじゃないかと、平和外交の努力を積み重ねて戦争の芽を摘むことが、一番合理的だ**と思うわけ。